



令和4年10月11日
内閣府（防災担当）

令和4年度「津波防災の日」・「世界津波の日」 に関する取組について

東日本大震災を教訓に津波対策を総合的に推進するため、平成23年6月に「津波対策の推進に関する法律」が制定され、あわせて、11月5日が「津波防災の日」と定められました。さらに、平成27年12月の国連総会において「世界津波の日」としても制定されました。

内閣府では、11月5日やその前後の期間において、津波防災の意識の向上と適切な避難行動の定着に向けて、「津波防災の日」スペシャルイベントを開催するとともに、地方公共団体と連携した地震・津波防災訓練を実施します。

また、国、地方公共団体、民間企業等が実施する津波防災に関する取組の計画について別紙のとおり取りまとめましたので公表いたします。

<問合せ先>

【「津波防災の日」・「世界津波の日」に関すること】

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（普及啓発・連携担当）付

知識、上山、榎本

TEL 03-3502-6984（直通）

【訓練・イベントに関すること】

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（地方・訓練担当）付

矢竹、磯部

TEL 03-3503-2236（直通）

令和4年度 「津波防災の日」・「世界津波の日」 に関する取組

令和4年10月11日



内閣府

令和4年度「津波防災の日」スペシャルイベント

◆ 日時
11月5日(土) 13:00~15:00

◆ 場所
東京都千代田区 (BASE Q (東京ミッドタウン日比谷6階))
※メイン会場とサブ会場(北海道根室市及び和歌山県那智勝浦町)を
オンラインで結びディスカッションを実施
※メイン会場(東京)とオンライン視聴のハイブリッド開催

◆ 内容
○第1部 基調講演「津波防災を進化させるー津波避難訓練等でタブーへも挑戦」

今村 文彦 (東北大学災害科学国際研究所 所長)

○第2部 パネルディスカッション「各地の津波防災に関する取組の紹介と意見交換」
ファシリテーター:

阪本 真由美 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 教授)

登壇者:

今村 文彦 (東北大学災害科学国際研究所 所長)

佐藤 健一 (アジア航測株式会社社会インフラマネジメント事業部地域創生部技師長
(前東日本大震災遺構・伝承館館長、元気仙沼市危機管理監))

村上 威夫 (内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(普及啓発・連携担当))

※上記は全て現時点における予定であり、変更の可能性があります

**11月5日は
津波防災の日
世界津波の日**

内閣府

令和4年度
「津波防災の日」
スペシャルイベント

参加
無料

2022.11.5(土) 13:00~15:00

趣旨
各地で津波防災対策の取組が進められています。そして、今年5月には、「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」が改正されたところであり、更なる取組の推進が求められています。津波は、迅速かつ適切な避難によって、人的な被害を相当程度軽減できる災害です。今回の「津波防災の日」スペシャルイベントでは、「地域特性に応じた津波防災の推進」をテーマとして、基調講演及びパネルディスカッションを実施します。日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震で津波被害が想定される根室市、南海トラフ地震で津波被害が想定される那智勝浦町もサブ会場としてオンラインで結び、津波防災対策の議論を行います。是非、ご参加ください。

開催概要

開催場所
東京都千代田区 BASE Q
(東京ミッドタウン日比谷6階)
(東京都千代田区有楽町1-1-2)

開催形式
メイン会場とサブ会場
(北海道根室市及び和歌山県那智勝浦町)
をオンラインで結び、サブ会場からの
発表に基づくディスカッションを実施
※メイン会場及びオンライン視聴の取組を実施します。メイン会場については、参加者数が定数に達した場合は、発表を中止します。また、会場にコロナウイルスの感染拡大防止として参加者の入室を中止する場合は、参加者にお知らせいたします。

参加費 無料

当日のプログラム(予定)

開会挨拶 内閣府特命担当大臣(防災)

第1部基調講演「津波防災を進化させるー津波避難訓練等でタブーへも挑戦」
今村文彦 (東北大学災害科学国際研究所所長)

第2部パネルディスカッション「各地の津波防災に関する取組の紹介と意見交換」
ファシリテーター: 阪本真由美 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授)
登壇者:
今村文彦 (東北大学災害科学国際研究所所長)
佐藤健一 (アジア航測株式会社社会インフラマネジメント事業部地域創生部技師長
(前東日本大震災遺構・伝承館館長、元気仙沼市危機管理監))
村上威夫 (内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(普及啓発・連携担当))

参加申込方法
(メイン会場及びオンライン視聴)
津波防災に関する特設サイトの申し込みボタンより必要事項をご記入の上、
11月2日(水)までに事務局までご送信ください。
津波防災特設サイト 検索 <https://tsunamibousai.jp>

お問合せはR4津波防災の日イベント事務局 (tsunamibousei@toiawase.info)までご連絡ください。主催:内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議

11月5日は 津波防災の日 世界津波の日



令和4年度

「津波防災の日」 スペシャルイベント

 参加
無料

2022.11.5 ± 13:00-15:00

趣旨

各地で津波防災対策の取組が進められています。そして、今年5月には、「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」が改正されたところであり、更なる取組の推進が求められています。

津波は、迅速かつ適切な避難によって、人的な被害を相当程度軽減できる災害です。

今回の「津波防災の日」スペシャルイベントでは、「地域特性に応じた津波防災の推進」をテーマとして、基調講演及びパネルディスカッションを実施します。日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震で津波被害が想定される根室市、南海トラフ地震で津波被害が想定される那智勝浦町もサブ会場としてオンラインで結び、津波防災対策の議論を行います。是非、ご参加ください。

開催概要

当日のプログラム(予定)

メイン会場

東京都千代田区 BASE Q
(東京ミッドタウン日比谷 6階)
(東京都千代田区有楽町1-1-2)

開会挨拶

内閣府特命担当大臣 (防災)



第1部基調講演「津波防災を進化させる —津波避難訓練等でタブーへも挑戦—

今村文彦 (東北大学災害科学国際研究所所長)

第2部パネルディスカッション「各地の津波防災に関する取組の紹介と意見交換」

ファシリテーター：阪本真由美 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授)

登壇者：

今村文彦 (東北大学災害科学国際研究所所長)

佐藤健一 (アジア航測株式会社社会インフラマネジメント 事業部地域創生部技師長
(前東日本大震災遺構・伝承館館長、元気仙沼市危機管理監))

村上威夫 (内閣府政策統括官 (防災担当) 付参事官 (普及啓発・連携担当))

開催形式

メイン会場とサブ会場
(北海道根室市及び和歌山県那智勝浦町)
をオンラインで結び、サブ会場からの
発表に基づくディスカッションを実施

※メイン会場及びオンライン視聴の参加者を募集します。メイン会場については、参加希望者が定員に達した場合、募集を終了します。また、新型コロナウイルスの感染状況によって参加方法等の変更を行う場合は、参加申込をいただいた方へご連絡いたします。

参加費 無料

参加申込方法

(メイン会場及びオンライン視聴)

津波防災に関する特設サイトの申し込みボタンより必要事項をご記入の上、
11月2日(水)までに事務局までご送信ください。

津波防災特設サイト

検索

<https://tsunamibousai.jp>



講演内容紹介

第1部基調講演「津波防災を進化させる ―津波避難訓練等でタブーへも挑戦―」

今村文彦（東北大学災害科学国際研究所所長）

東日本大震災の大きな被害を受けて、災害を繰り返さないために津波防災地域づくりに関する法律が制定され、各地で、津波の浸水想定や避難計画の検討などが実施されています。考えられる最大規模も含めて事前に準備することが不可欠ですが、突然に想定外の事象も起ります。今年1月15日トンガ噴火による潮位変化が発生しました。当時の津波情報と避難実態について紹介します。だれでもいつでも出来る避難ですが、盲点も沢山ありました。課題の1つが、津波避難訓練です。その必要性和重要性は変わりませんが、どうもその内容や参加率はどうでしょうか？マンネリ化になっていないでしょうか？様々な工夫も試みられていますし、自動車移動などこれまでタブーとされてきたことをあえて取り入れる事例もあります。誰のための何のための企画なのか？是非、検討いただきたいと思います。

[プロフィール]

今村 文彦 氏

東北大学災害科学国際研究所 所長

- アジア工科大学院助教授、東北大学助教授、東北大学教授等を経て、2014年4月から東北大学災害科学国際研究所長（現職）、2020年4月から東北大学総長補佐（現職）、関西大学客員教授（社会安全学部）（現職）
- 元自然災害学会会長、防災功労者内閣総理大臣表彰（平成28年）、濱口梧陵国賞（国土交通大臣賞）（2020年）等

第2部パネルディスカッション「各地の津波防災に関する取組の紹介と意見交換」

北海道根室市

根室市は北海道の東端に位置し、太平洋とオホーツク海という恵みの海に囲まれた日本有数の水産都市です。これまでの津波防災の取組みとしては、町会単位の地区ごとに「地域版津波避難計画」を策定し、それに基づく津波避難訓練などを実施してきたところです。

昨年7月に北海道から新たな津波浸水想定が公表され、最大波到達時間は最短で24分、最大津波高21.7mと示されたほか、本年7月には市町村別の被害想定が公表となり、津波による死者数が最悪の状況で2,300人という衝撃的な数字が示されたところであり、これを何としても「ゼロ」に近づけるためのあらゆる取組を進めるため、現在「根室市津波防災地域づくり推進計画」の策定を進めており、ハード・ソフト両面から、多重防御の在り方を検討しているところです。

和歌山県那智勝浦町

那智勝浦町は和歌山県の南東部に位置し、日本有数の水揚げ高を誇る生まぐろを活かした水産業と、世界遺産や温泉等の豊富な資源による観光業のまちです。

このように、「海」と密接に関わり合いをもつまちとして成り立っていることから、近い将来発生が懸念されている南海トラフ地震では、沿岸部において大規模な津波被害が想定されており、津波避難施設等の整備による避難対策が進められているものの、景観への配慮等、津波防災と産業の両立といった点で課題を抱えています。

また、津波の到達時間も早く、地震発生後10分以内に沿岸部の広い範囲で津波浸水が予測されており、迅速・安全に避難を完了し「命」を守るためには「自助」・「共助」・「公助」の連携が不可欠であり、津波避難施設等の整備に併せ、防災訓練や学習会を実施し、住民の防災意識の醸成に取り組んでいます。

[プロフィール]

佐藤 健一 氏

アジア航測株式会社社会インフラマネジメント事業部
地域創生部技師長
(前東日本大震災遺構・伝承館館長、元気仙沼市危機管理監)

- 気仙沼市総務部危機管理監兼危機管理課長、2012年10月からアジア航測株式会社社会インフラマネジメント事業部地域創生部技師長（現職）、2021年度に東日本大震災遺構・伝承館館長を兼務
- 東日本大震災当時に気仙沼市危機管理課長を務める

阪本 真由美 氏

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授

- 国際協力機構（JICA）、人と防災未来センター研究部主任研究員、名古屋大学減災連携研究センター特任准教授、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授等を経て、2020年4月から兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授（現職）
- 内閣官房「ナショナル・レジリエンス（防災・減災）懇談会委員」、内閣府「火山防災対策会議委員」、「被災者支援のあり方検討会委員」、「個別避難計画作成モデル事業アドバイザーボード委員」等



※日程は実施予定日

訓練内容

住民が自ら考える取組

地震・津波発生時に、住民自らが考えて避難行動をすることができるよう、訓練前に地域のリスクや避難計画などを考えるワークショップを開催し、訓練後には、見つけた課題や次回の訓練に向けた改善の方策等を学びます。

シェイクアウト訓練

訓練開始合図（防災行政無線等）で、自らの身を守る安全確保行動を1分から数分間実施

津波避難訓練

防災行政無線による情報伝達訓練等を活用し、最寄りの避難場所等へ避難



北海道根室市の訓練概要



令和4年度 地震・津波防災訓練

- 日時：令和4年11月5日（土）9時30分開始（予定）
- 場所：根室市花咲港地区、根室市立花咲港小学校
- 訓練概要：
 - シェイクアウト訓練、津波避難訓練、防災備品展示
講話（一部、避難所設営等の実演を含む）等
- 訓練参加機関等：
 - 市民、消防団、消防本部、根室警察署、根室海上保安部、
(株)Agoop、日本赤十字看護大学附属災害救護研究所、根室市 等



住民の防災力向上のためのワークショップ

- 日時：[訓練実施前] 令和4年10月4日（火）
[訓練実施後] 令和4年12月上旬頃
- 場所：花咲港会館2F会議室
- 参加者：市民、消防団、消防本部、根室警察署、根室海上保安部
- 取組内容：
 - 一人ひとりの津波避難マップ作成、組織間の連携の在り方検討
津波避難訓練振り返り、今後の訓練企画 等

取材場所等に関する問合せ先

北海道根室市 総務部総務課 TEL：0153-23-6111

山形県酒田市の訓練概要



令和4年度 地震・津波防災訓練

- 日時：令和4年10月29日（土）8時03分開始
- 場所：市内全域
- 訓練概要：
 - ①シェイクアウト訓練、避難訓練(市内全域で実施)
 - ②24時間対応の民間津波避難ビルへの津波避難訓練(津波避難訓練実施地域で実施)
 - ③災害対策本部設置・運用訓練等(酒田市役所で実施)
- 訓練参加機関等：
市民、消防団、消防、警察、海上保安庁、酒田市 等



住民の防災力向上のためのワークショップ

- 日時：[訓練実施前] 令和4年10月10日（月・祝）
[訓練実施後] 令和4年12月3日（土）
- 場所：未定
- 参加者：津波浸水想定区域の住民等
- 取組内容：
災害リスクの確認、災害時のイメージ力の向上、訓練振り返り等

取材場所等に関する問合せ先

山形県酒田市 総務部危機管理課 TEL：0234-26-5701

茨城県北茨城市の訓練概要



令和4年度 地震・津波防災訓練

- 日時：令和4年11月6日（日）9時00分開始
- 場所：大津小学校、大津漁港仁井田地区
- 訓練概要：
シェイクアウト訓練、津波避難訓練(大津小学校区)、
避難所開設訓練、炊き出し訓練、救助訓練、各種展示 等
- 訓練参加機関等：
市民、海上保安庁、陸上自衛隊、警察、消防本部、消防団、
市民病院、自主防災会、大津漁業協同組合、北茨城市 等

住民の防災力向上のためのワークショップ

- 日時：[訓練実施前] 令和4年10月27日（木）14時00分開始
[訓練実施後] 令和4年11月上旬予定
- 場所：複合防災センター（予定）
- 参加者：自主防災組織
- 取組内容：
災害時のイメージ力の向上、防災訓練の準備と振り返り、
地域の防災力向上につながる活動の促進

取材場所等に関する問合せ先
茨城県北茨城市 総務部総務課危機管理室
TEL：0293-43-1111（内339）

神奈川県平塚市の訓練概要

令和4年度 地震・津波防災訓練

- 日時：令和4年11月5日（土）9時00分開始（予定）
- 場所：平塚工科高等学校
- 訓練概要：
シェイクアウト訓練、津波避難訓練、避難所開設訓練 等
- 訓練参加機関等：
市民、消防団、警察、平塚市 等

住民の防災力向上のためのワークショップ

- 日時：[訓練実施前] 令和4年10月16日（日）
[訓練実施後] 令和4年12月18日（日）
- 場所：平塚市立なでしこ公民館
- 参加者：自主防災組織の役員
- 取組内容：
災害時のイメージ力の向上、「逃げ地図」の作成訓練
津波避難と避難所開設・運営の訓練振り返り等

取材場所等に関する問合せ先

神奈川県平塚市 市長室災害対策課 TEL：0463-21-9734



静岡県掛川市の訓練概要



出典：国土地理院

令和4年度 地震・津波防災訓練

○日時：令和5年3月12日（日）9時00分開始

○場所：千浜小学校区

○訓練概要：

シェイクアウト訓練、津波避難訓練、避難所開設訓練 等

○訓練参加機関等：

市民、消防団、消防、警察、掛川市 等

住民の防災力向上のためのワークショップ

○日時：[訓練実施前] 令和5年2月頃

[訓練実施後] 令和5年3月12日（日）13時00分開始

○場所：千浜農村環境改善センター

○参加者：千浜小学校区内の自治会役員等

○取組内容：

災害時のイメージ力の向上、訓練振り返り 等

取材場所等に関する問合せ先

静岡県掛川市 危機管理部危機管理課 TEL：0537-21-1131

愛知県常滑市の訓練概要



令和4年度 地震・津波防災訓練

- 日時：令和4年11月6日（日）9時00分開始
- 場所：常滑地区（北条・瀬木・奥条・市場・山方・保示区）
- 訓練概要：
シェイクアウト訓練、津波避難訓練、安否確認訓練、情報伝達訓練
避難所開設訓練、給水訓練、各種救出救助訓練等
- 訓練参加機関等：
地区住民、常滑地区自主防災組織、消防本部・消防団、県警察本部、
海上保安庁、自衛隊、愛知県、常滑市等



住民の防災力向上のためのワークショップ

- 日時：[訓練実施前] 令和4年10月15日（土）
[訓練実施後] 令和4年12月11日（日）
- 場所：常滑市役所（1階会議室）
- 参加者：常滑地区自主防災組織
- 取組内容：
防災知識や地区防災計画の講義、地区防災計画の作成
津波避難訓練振り返り等

取材場所等に関する問合せ先

愛知県常滑市 総務部防災危機管理課 TEL：0569-47-6107

和歌山県那智勝浦町の訓練概要



令和4年度 地震・津波防災訓練

○日時：令和4年11月5日（土）9時00分開始

○場所：町内全域

○訓練概要：

町内全域での訓練：シェイクアウト訓練、津波避難訓練

勝浦地区での訓練：上記訓練の他、情報伝達訓練、安否確認訓練
無線連絡訓練、避難所設置・運営訓練、物資配給訓練、防災に関する講話

○訓練参加機関等：

町内全域の自治会・自主防災組織、那智勝浦町等



住民の防災力向上のためのワークショップ

○日時：[訓練実施前] 令和4年10月26日（水）

[訓練実施後] 令和4年11月21日（月）

○場所：那智勝浦町役場、体育文化会館

○参加者：勝浦1区～6区の自治会・自主防災組織、那智勝浦町

○取組内容：

地区防災計画の講義

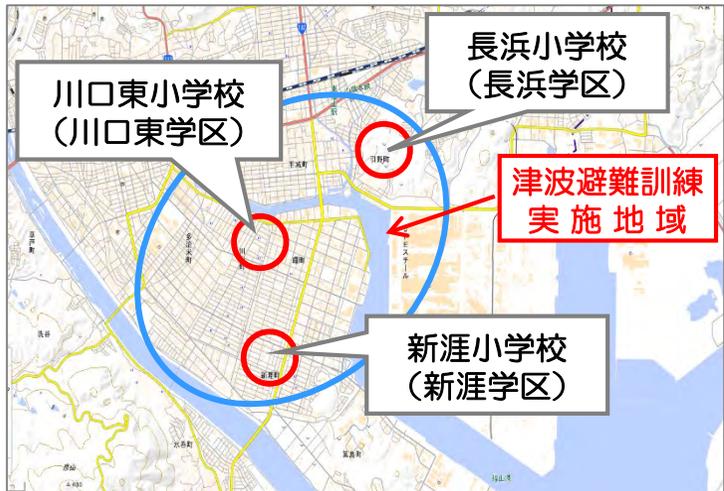
避難経路・時間的尺度を考察した避難計画作成のワークショップ

津波避難訓練振り返り等

取材場所等に関する問合せ先

和歌山県那智勝浦町 総務課防災対策室 TEL：0735-29-7121

広島県福山市の訓練概要



出典：国土地理院

令和4年度 地震・津波防災訓練

- 日時：令和4年11月27日（日）9時00分開始
- 場所：市内7学区・地区(高西地区、長浜学区、新涯学区、川口東学区、能登原地区、高島学区、野々浜学区)
- 訓練概要：
シェイクアウト訓練、津波避難訓練、情報伝達訓練、安否確認訓練、避難所開設・運営訓練、炊き出し訓練、消防団活動訓練、救出救助訓練、その他(住民参加・体験型の訓練など)
- 訓練参加機関等：
7学区・地区自主防災組織、広島県、福山市 等

住民の防災力向上のためのワークショップ

- 日時：[訓練実施前] 令和4年10月1日（土）、2日（日）
[訓練実施後] 令和5年1月22日（日）
- 場所：福山市役所 大会議室
- 参加者：[訓練実施前]津波浸水地域に所在する市内42学区・地区
[訓練実施後]訓練実施7学区・地区
- 取組内容：
防災知識や地区防災計画等の講義、地区防災計画の作成方法等
津波避難訓練振り返り、コミュニティ防災の課題整理等

取材場所等に関する問合せ先
 広島県福山市 総務局総務部危機管理防災課
 TEL：084-928-1228

徳島県徳島市の訓練概要



出典：国土地理院

令和4年度 地震・津波防災訓練

- 日時：令和4年11月4日（金）9時30分開始
- 場所：徳島市内全域
- 訓練概要
シェイクアウト訓練、津波避難訓練、情報伝達訓練、
安否確認訓練、物資配給訓練 等
- 訓練参加機関等
市民、自主防災組織、市内小学校、中学校、高等学校
市内企業、徳島市 等

住民の防災力向上のためのワークショップ

- 日時：[訓練実施前] 令和4年10月10日（月・祝）
[訓練実施後] 令和4年12月10日（土）
- 場所：徳島市役所（13階会議室）
- 参加者：自主防災組織代表者、徳島市防災サポーター
- 取組内容
災害時のイメージ力の向上、一人ひとりの津波避難シナリオの検
討、津波避難訓練の振り返り 等

取材場所等に関する問合せ先

徳島県徳島市 危機管理局防災対策課 TEL：088-621-5527

愛媛県西条市の訓練概要



出典：国土地理院

令和4年度 地震・津波防災訓練

- 日時：令和4年11月5日（土）8時00分開始
- 場所：禎瑞地区
- 訓練概要：
シェイクアウト訓練、津波避難訓練、情報伝達訓練、安否確認訓練
展示訓練、防災講話、物資配給訓練 等
- 訓練参加機関等：
禎瑞地区自主防災会(実行委員会)、消防本部・消防団、警察署
愛媛県、西条市 等

住民の防災力向上のためのワークショップ

- 日時：[訓練実施前] 令和4年10月1日（土）
[訓練実施後] 令和4年12月頃予定
- 場所：禎瑞小学校体育館
- 参加者：禎瑞地区（6コ自治会）、愛媛県、西条市
- 取組内容：
防災知識や地区防災計画の講義、地区防災計画の作成
津波避難訓練振り返り 等

取材場所等に関する問合せ先

愛媛県西条市 経営戦略部危機管理課 TEL：0897-52-1281

沖縄県那覇市の訓練概要



令和4年度 地震・津波防災訓練

- 日時：令和4年11月5日（土）11時00分開始
- 場所：若狭地区
- 訓練概要：
シェイクアウト訓練、災害時情報伝達訓練
津波避難訓練、一時避難者受入訓練、指定避難所移動訓練、
- 訓練参加機関等：
那覇市消防団、自主防災組織、地域自治会、那覇市消防局、
那覇市 等



住民の防災力向上のためのワークショップ

- 日時：[訓練実施前] 令和4年10月15日（土）
[訓練実施後] 令和4年12月頃予定
- 場所：那覇市津波避難ビル3階
- 参加者：地域住民、地域自治会
- 取組内容：防災知識の講義・避難マップの作成、
津波避難訓練の振り返り 等

取材場所等に関する問合せ先

沖縄県那覇市 総務部防災危機管理課 TEL：098-861-1102 16

国の取組

157の機関においてシェイクアウト訓練、津波避難訓練、避難所開設・運営訓練、職員の安否確認訓練、情報伝達訓練、パネル展示等の啓発活動等を実施予定

<実施機関>

内閣府、警察庁（各都道府県警察）、法務省（全国の少年院、少年鑑別所、刑務所等）、財務省（各財務事務所、税関等）、経済産業省（各経済産業局）、国土交通省（各地方整備局、各運輸局等）、気象庁（各气象台）、防衛省（全国の部隊等）

地方公共団体の取組

238の地方公共団体においてシェイクアウト訓練、津波避難訓練、避難所開設・運営訓練、職員の安否確認訓練、情報伝達訓練、災害対策本部運営訓練、ワークショップ、シンポジウム等を実施予定

<実施地方公共団体>

北海道（北海道、蘭越町、泊村、登別市、豊浦町、むかわ町、日高町、函館市、森町、奥尻町、小平町、初山別村、礼文町、大樹町、広尾町、浦幌町、釧路市、厚岸町、根室市、別海町、羅臼町、上ノ国町）、青森県（青森県、八戸市、むつ市、大間町）、岩手県（宮古市、大船渡市、陸前高田市、大槌町、野田村）、宮城県（仙台市、気仙沼市、多賀城市、東松島市、亘理町、山元町、女川町、南三陸町）、秋田県（にかほ市、八峰町）、山形県（山形県、酒田市）、福島県（いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町）、茨城県（日立市、北茨城市、鉾田市）、千葉県（銚子市、館山市、勝浦市、富津市、南房総市、山武市、いすみ市、大網白里市、一宮町、長生村、九十九里町、鋸南町）、神奈川県（神奈川県、横浜市、川崎市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、三浦市、葉山町、大磯町、二宮町、湯河原町）石川県（珠洲市、輪島市、羽咋市、白山市、能登町）、福井県（高浜町）、静岡県（静岡県、下田市、東伊豆町、御前崎市、湖西市、富士市、伊東市、磐田市、静岡市、南伊豆町、松崎町、焼津市、伊豆市、掛川市、浜松市、河津町、沼津市）、愛知県（常滑市、豊橋市、西尾市、蒲郡市、東海市、知多市、田原市、弥富市、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町）、三重県（三重県、鳥羽市、志摩市、鈴鹿市、熊野市、大紀町、御浜町、尾鷲市、津市、桑名市）、京都府（舞鶴市）、大阪府（堺市、泉大津市、高石市、貝塚市、泉南市、岸和田市、泉佐野市、忠岡町）、兵庫県（神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、明石市、加古川市、高砂市、播磨町、姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、洲本市、淡路市、南あわじ市、豊岡市、香美町、新温泉町）、和歌山県（和歌山県、和歌山市、海南市、御坊市、広川町、由良町、日高町、印南町、みなべ町、那智勝浦町）、鳥取県（大山町）、島根県（浜田市）、岡山県（岡山県、倉敷市、玉野市、笠岡市）、広島県（海田町、尾道市、江田島市、竹原市、福山市）、山口県（下関市）、徳島県（徳島県、徳島市）、香川県（丸亀市、三豊市、土庄町、直島町）、愛媛県（今治市、宇和島市、八幡浜市、西予市、上島町、伊方町）、高知県（高知市、安芸市、須崎市、香南市、奈半利町、四万十町、黒潮町）、佐賀県（玄海町）、長崎県（新上五島町）、大分県（大分県、佐伯市、国東市、杵築市）、宮崎県（串間市、日向市）、鹿児島県（阿久根市、喜界町、錦江町、志布志市、鹿屋市、鹿児島市、十島村、瀬戸内町、西之表市、大和村、東串良町、南種子町、南大隅町、龍郷町）、沖縄県（沖縄県、那覇市、豊見城市、宮古島市、恩納村、金武町、伊江村、嘉手納町、読谷村、西原町、与那原町、渡嘉敷村、粟国村、伊平屋村、伊是名村、久米島町、八重瀬町、多良間村、うるま市、座間味村、渡名喜村）

企業等の取組

68の企業等においてシェイクアウト訓練、津波避難訓練、避難誘導訓練、情報伝達訓練、社員の安否確認訓練等を実施予定

<実施企業等>

(国研)水産研究・教育機構、(国研)海上・港湾・航空技術研究所(港湾空港技術研究所)、(国研)国際津波・沿岸防災技術啓発事業組織委員会、西日本高速道路(株)、阪神高速道路(株)、(株)本州四国連絡高速道路、四国旅客鉄道(株)、九州旅客鉄道(株)、日本貨物鉄道(株)、成田国際空港(株)、関西エアポート(株)、中部国際空港(株)、日本通運(株)、佐川急便(株)、九州郵船(株)、太平洋フェリー(株)、商船三井フェリー(株)、神新汽船(株)、JR西日本宮島フェリー(株)、イオングループ、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)ファミリーマート、北海道電力(株)、北海道電力ネットワーク(株)、東北電力(株)、東北電力ネットワーク(株)、中部電力(株)、中部電力パワーグリッド(株)、中部電力ミライズ(株)、関西電力(株)、関西電力送配電(株)、中国電力(株)、中国電力ネットワーク(株)、四国電力(株)、四国電力送配電(株)、沖縄電力(株)、(株)JERA、電源開発(株)、J-POWERジェネレーションサービス(株)、東京ガス(株)、東京ガスネットワーク(株)、東邦ガスグループ、(株)市川アストモスターミナル、太陽石油(株)、コスモ石油(株)、富士石油(株)、石油連盟、東亜石油(株)、ENEOS(株)、みらい建設工業(株)、五洋建設(株)、鹿島建設(株)、(株)大林組、西日本電信電話(株)、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)、輸出入・港湾関連情報処理センター(株)、ヤマサ醤油(株)、みやぎ北上商工会、角田市商工会、新居町商工会、日本赤十字社、公益社団法人日本医師会、日本放送協会、(株)エフエム東京、(株)ケーブルメディアワイワイ、静岡エフエム放送(株)、(株)FMなかつ、北海道信用漁業協同組合連合会

(参考)「津波防災の日」・「世界津波の日」について

東日本大震災（2011年3月11日）

- 津波は、ひとたび起きれば、その被害は甚大であり、被災範囲も広いのが特徴です。東日本大震災では、津波や津波からの避難方法を知らないために多くの方が犠牲になりました。



津波による被害（宮城県気仙沼市）

11月5日「津波防災の日」

- 東日本大震災を教訓とした「津波対策の推進に関する法律（2011年6月）」により、11月5日が「津波防災の日」として制定されました。
- この日は、安政元年11月5日の安政南海地震（M8.4）で和歌山県を津波が襲った際に、稲に火を付けて、暗闇の中で逃げ遅れていた人たちを高台に避難させて命を救った濱口梧陵の逸話にちなんで定められました。この逸話をモデルに「稲むらの日」の物語が作られました。



稲束（稲むら）に火をつける濱口梧陵

11月5日「世界津波の日」

- 「第3回国連防災世界会議」や「持続可能な開発のための2030アジェンダ」のフォローアップのために開催された2015年12月の国連総会で、我が国をはじめ142カ国が共に提案し、11月5日を「世界津波の日」として制定する決議が満場一致で採択されました。
- 「津波防災の日」である11月5日が国連総会決議において「世界津波の日」とされたことも踏まえ、2017年3月に「津波対策の推進に関する法律」においても「世界津波の日」に位置づけられたほか、国際協力の推進に資するよう配慮する旨の規定が追加されました。



第70回国連総会本会議の様子